

議事録

1. 日時

2019 年 2 月 13 日 (水) 18:30~20:30

2. 場所

(株)第一コンピューターソース 8 階会議室 1

3. 出席者 (敬称略順不同)

近藤 史人、大喜 康生、川島 由久、小倉 友嗣、鳥本 昌孝、門野 秀哉、中村 康司、鈴木 聡 (記)
以上 8 名

4. 議題

- (1) 今年度研究会活動テーマについて
- (2) スケジュール案
- (3) WEB 会議ツールの導入について

5. 議事

- (1) 今年度研究会テーマについて

近藤さんより提示された、活動に関する ppt (添付) を見ながら、フリーディスカッションを行い、活動の方向性を詰めた。

案 1. ソフトウェア工学 B(※1)で、先端ビジネス領域を徹底深堀。

案 2. ソフトウェア工学 B(※1)でレガシー企業の DX 探求。

の 2 案があり、議論。

案 2.は製造業が抱える重要な課題ではあるが、1 年間の研究会活動という枠組みの中で、答えが出しやすいことに視点を置き、全員が意見を出しやすく、かつ内容の面白さを重視し、案 1.を採用することとした。

案 1.を深掘りする中でレガシー企業の DX の課題が浮き彫りになる可能性もある。

具体的には、地域的な課題や情報収集のしやすさ、参加メンバーの知見などを考慮し、自動車業界の CASE をテーマに社会全体を俯瞰した変遷をモデル化し、個々の事業者がどのように DX 移行すべきかを探求することとした。

(※1)ソフトウェア工学 B: IT/システムのデザイン(ドメイン分析、IT アーキテクチャ設計・評価など)から、ソフトウェアデザイン(構築、テスト・検証など)への流れを、ソフトウェア工学 A と呼び、ビジネスデザイン(ニーズ、シーズ、ステークホルダ分析など)から入ってアジャイルの手法で IT/システムデザインへ流れるものを、ソフトウェア工学 B と呼ぶ。出典: 平鍋健児氏

今回、BABOK の研究テーマのベースに DX を選定したが、平鍋氏のソフトウェア工学 B の上流部分が BABOK と重なるため、うまく使えるのではないかと、近藤座長の判断から、提案いただいた。

(2) スケジュール案

| スケジュール案 | 3 月度 | 4 月度 | 5 月度 | 6 月度 | 7 月度 |
|------------|------|------|------|------|------|
| プレイヤーの洗い出し | ○ | | | | |
| ニーズ抽出 | | ○ | | | |
| シーズ分析 | | | ○ | | |
| ステークフォルダ分析 | | | | ○ | |
| 全体のモデル化 | | | | | ○ |

(3) WEB 会議ツールの導入について

平日定時後に納屋橋まで集まれるメンバーを主体に進めているが、就業地の問題から出席が難しい参加希望者のために、WEB 会議ツールの導入について検討。

ツールとして Google ハングアウト、Google スプレッドシートが議題に上がり、その場で共有テストを行った。

Google ハングアウトはテレビ会議的に使うことで、オフラインのホワイトボードや模造紙などへの書き込みを共有できるが、遠隔地からの参加方法を考える必要がある。

Google スプレッドシートは同時に書き込みができるため、仮想的なホワイトボードの共有ができる。

今後、この両方をうまく使い分けてゆく。

6. 次回予定

3月13日(第2水曜) 18:30~20:30 第一コンピュータリソース 8階会議室 2

議題は先端ビジネス領域を徹底深掘、プレイヤーの洗い出し

宿題：各自プレイヤーの候補をいくつか、考えてきてください。

7. その他

(1) 今回の活動テーマを検討するうえで、ポイントとなった考え方について、テーマとして活用したいので、近藤さんから出典の平鍋健児氏に連絡を取っていただく。

(2) 今回参加の門野さんは鳥本さんのご紹介です。今後とも参加いただけますよう、お願いいたします。

(3) 研究会後「味一」で懇親会。参加者(敬称略順不同)：近藤 史人、鳥本 昌孝、門野 秀哉、鈴木 聡でした。